


人口と世帯数 (平成30年6月1日現在)		
人口 (人)	男	29,251
	女	29,240
	計	58,491
世帯数		30,538

広報ふっさ第1000号記念企画として、6月29日(金)まで「広報ふっさ『時代を彩った紙面展』」を市役所1階ロビーで開催中です！ぜひご覧ください。



今号の主な記事

2面 マイナンバーカード申請サポートを実施します！ 3面 平成29年度下半期財政公表 4面 地域猫制度について
5面 住宅に関するお知らせ 6面 介護保険料(65歳以上の方へ)のご案内 7面 ジュニア自然体験教室参加者募集！ 8面 保健ガイド

福生でお米、作ってます！

～第七小学校5年生の子どもたちが行った田植え授業にて～



第七小学校の5年生に、田植え授業を行った「北田園田んぼを守る会」の皆さん

◀〔左から〕石川恵一氏（福生市農業委員会会長）、町田俊文氏（福生唯一の田んぼの管理者）、小山明男氏（福生市農業委員会会長職務代理）

「北田園田んぼを守る会」による子どもたちとの交流

今 では住宅街の南田園・北田園地帯も、区画整理前の昭和40年代前半までは米農家が60軒以上もある、まさに田園地帯でした。時代とともに田んぼは減少し、現在では北田園にあるものが唯一の田んぼです。

しかし、その唯一の田んぼの所有者である町田盛彰さんも高齢となり、管理が難しくなっていました。そこで、農業委員会が中心となり、息子の俊文さんに呼びかけて発足させたのが「北田園田んぼを守る会」です。

今年、同会は保全活動として、5月30日に町田さんが所有する北田園の田んぼで、第二小学校の5年生と田植えを行いました。

さらに第七小学校からの依頼を受け、6月4日には校内の施設の田んぼで、5年生と一緒に田植えを行い、それぞれ子どもたちと稲作を通じた交流を図りました。

会の皆さんは、活動目的である「北田園の田んぼの保全」だけでなく、体験を通して地域の小学生に楽しんでもらいながら、「福生の田んぼ」の記憶を未来へ残していただいています。